

■ 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日
定時株主総会	5月
基準日	2月末日 (その他必要があるときは予め公告いたします)
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
株主名簿管理人	株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 (お問合せ先) ☎0120-255-100 (特別口座に関するご照会) ☎0120-351-465 http://www.daiko-sb.co.jp/
公告の方法	電子公告 < http://www.m-ikkou.co.jp/ > ただし、電子公告を行うことができない場合、 その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3353

■ ホームページのご紹介

IRアンケート

皆様からのご意見を参考に、さらに役立つIR情報を発信していくためアンケートを実施しています。

IRメール配信サービス

IR情報をメールでお知らせするサービスです。
(登録無料)

トップページ



IRアンケート



IRメール配信サービス



第24期事業報告書

2008年3月1日 ▶ 2009年2月28日

株式会社メディカル一光

M E D I C A L I K K O U C O . , L T D . B U S I N E S S R E P O R T

Medical Ikkou

Pharmacy

Medicine

Nursing

Medical Estate

JASDAQ

証券コード 3353

基本方針 | *Basic Principles*

調剤薬局事業

Pharmacy



医薬品卸事業

Medicine



メディカルー光グループは、
「良質の医療・介護サービスを
より多くの人に提供する」

という理念の下、
さらなる企業価値の向上に
取り組んでまいります。

介護事業

Nursing



不動産事業

Medical Estate



株主の皆様へ | *To our Shareholders*



代表取締役社長 南野 利久

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。ここに第24期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)の営業の概況等をご報告させていただきます。

当連結会計期間におけるわが国の経済は、米国の大手証券会社の破綻を契機とした世界的な消費不況に突入しました。企業業績の急速な悪化による雇用不安の高まりから、さらに消費の落ち込みが見られ、景気後退感を一層強めながら推移いたしました。

当社のコア事業である調剤薬局業界におきましては、医薬分業率が57%を超え、伸び率は緩やかなものの拡大を続けております。一方で、医療費の抑制を目的とした医療制度改革が推進されております。このような経営環境の中で調剤薬局事業は、前期に取得した調剤子会社の売上がフル寄与したことに加え、新たに2店舗を出店したことにより、グループの増収増益を牽引する堅調な業績となりました。

医薬品卸事業は、ジェネリック医薬品の使用促進によるマーケットの拡大基調に合わせた業績の向上に努めました。当社の新たな成長エンジンと位置付けております介護事業は、昨年12月に3施設目となる有料老人ホームの運営を開始し、既存施設と合わせて計画どおりに推移しました。不動産事業は、医療施設及び商業施設の賃貸業務により引き続き安定した業績となりました。

今後の事業展開として、主力とする調剤薬局事業におきましては、効率的な店舗運営を推進しつつ、M&Aを含めた規模拡大により、さらなる収益体制の強化に努めてまいります。介護事業につきましては、療養型病床の削減に伴い代替施設としての需要が高まる、有料老人ホームの開設を積極的に展開してまいります。

当社は、医療・介護を中心として事業展開し、安全性を追求した質の高いサービスを提供することにより、さらなる成長を続けていく所存です。

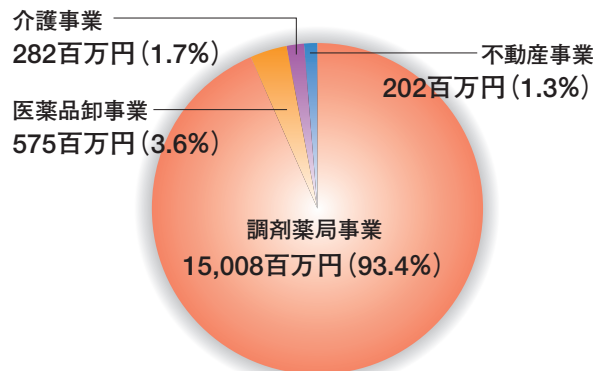
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年5月



当社は調剤薬局事業、医薬品卸事業、介護事業、不動産事業を推進しています。医療と介護のシナジーを追求した事業体制の構築に向けて、さらなる事業規模の拡大を図ってまいります。

セグメント別売上高



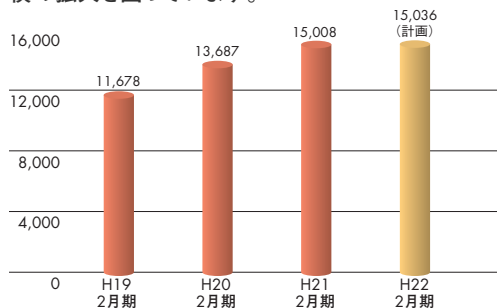
医療と介護に特化した4事業を展開

事業部門別売上高推移

調剤薬局事業

(単位:百万円)

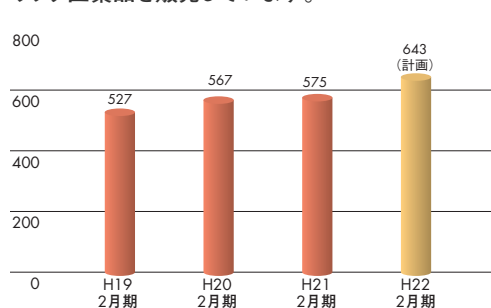
収益性を重視した新規出店およびM&Aにより、規模の拡大を図っています。



医薬品卸事業

(単位:百万円)

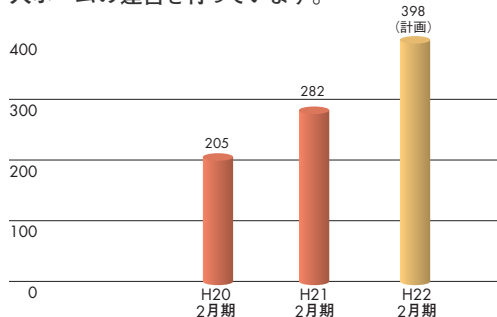
医療制度改革として使用促進が織り込まれたジェネリック医薬品を販売しています。



介護事業

(単位:百万円)

超高齢社会の到来により、需要が増加する有料老人ホームの運営を行っています。



不動産事業

(単位:百万円)

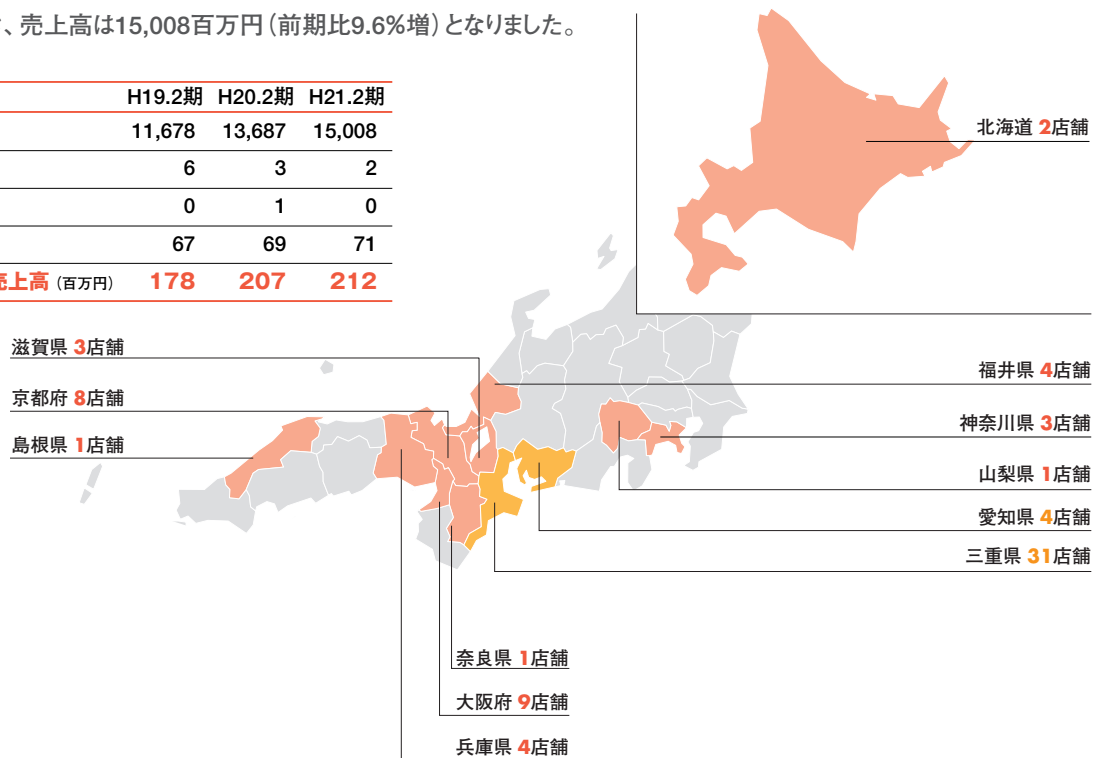
医療施設および商業施設を中心とした賃貸業務により、安定した収益の確保を図っています。



調剤薬局事業

当期は、フラワー薬局夏見店（三重県名張市／右ページ①）とフラワー薬局砂田橋店（名古屋市東区／右ページ②）の2店舗を開局し、グループ全体の店舗数は71店舗となりました。調剤薬局業界におきましては、医薬分業率が57%を超え、伸び率は緩やかになり、成長期から成熟期を迎えたと言えます。そのような中で、当社は収益性を重視した新規出店を行うとともに、調剤子会社および既存店においても順調な売上を維持することができ、売上高は15,008百万円（前期比9.6%増）となりました。

	H19.2期	H20.2期	H21.2期
売上高 (百万円)	11,678	13,687	15,008
出店数	6	3	2
退店数	0	1	0
期末店舗数	67	69	71
1店舗あたりの売上高 (百万円)	178	207	212



新規開局店舗

A



フラワー薬局夏見店

B



フラワー薬局砂田橋店

医薬品卸事業

医薬品卸事業では、大手ジェネリックメーカーである沢井製薬株式会社、大洋薬品工業株式会社の販売代理店として、中部圏の医療機関にジェネリック医薬品を販売しています。



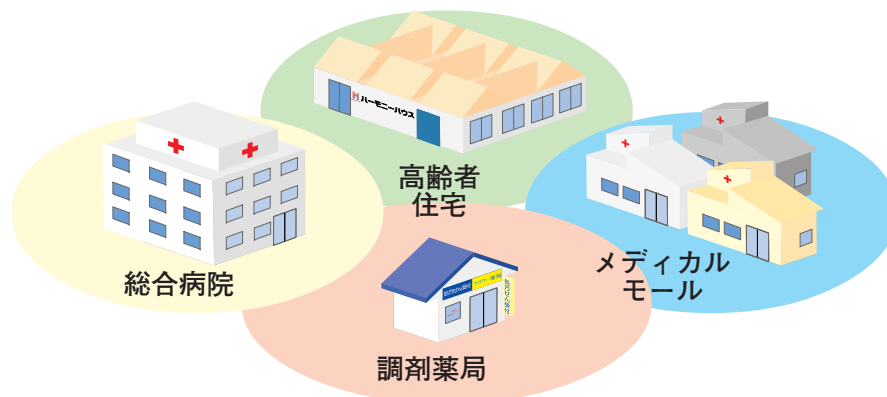
介護事業

平成19年から有料老人ホームの運営を開始し、現在まで3施設の有料老人ホームを運営しています。「医・食・住・遊」をコンセプトとして、入居者の皆様が安心して快適な生活を送れるよう満足度の向上を図っています。



医療・調剤・介護の集合体

当社が目指すビジネスモデルは、医療・調剤・介護の集合体です。利便性と安心感という付加価値を追求したシナジー効果を発展させることで、医療サービスを提供する企業に求められる社会的ニーズに応え、さらなる業容の拡大を推進してまいります。



Topics 01 IR優良表彰、ウェブサイト表彰

ジャスダック証券取引所から2008年度のIR優良会社として2年連続で表彰を受けました。

日興アイ・アールが発表した「全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、新興市場ランキング(1,344社)では最優秀サイトに、業種別ランキング(390社)では優秀サイトに選ばれました。



企業ホームページ
最優秀サイト
2008
日興アイ・アール
新興市場ランキング

調査会社:日興アイ・アール株式会社
調査概要:全上場企業のサイトの中から、株主、投資家、製品ユーザ、取引企業等の視点でサイトの充実度を評価。(発表:2008年10月31日)



IR情報

IRライブラリやIRイベントなど

医療ニュース

各社の医療ニュースを毎日更新

新着情報

最新情報やプレスリリース

個人投資家の皆様へ

当社グループを分かりやすく説明

Topics 02 社会貢献活動

当社は、事業に深く関わる医療を通じた社会貢献活動を推進しています。

- 8月 三重大学医学部附属病院 小児科が行う「血液腫瘍外来サマーキャンプ」の活動に後援しました。
- 11月 タイ王国の国立病院 マハワチラロンコーンセンターにピアノを寄贈しました。



営業の概況 | *Review of Operations*

■ セグメント別売上高

(単位:百万円)

	H21年2月期	前期比増減率
売上高合計	16,068	9.6%
調剤薬局事業	15,008	9.6%
医薬品卸事業	575	1.3%
介護事業	282	37.6%
不動産事業	202	0.8%

■ セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	H21年2月期	前期比増減率
営業利益合計	749	5.3%
調剤薬局事業	1,044	3.1%
医薬品卸事業	26	△ 4.5%
介護事業	△ 8	—
不動産事業	112	△ 6.2%
共通経費	△ 424	—

当期の連結業績は、コア事業である調剤薬局事業の売上が増加したことに加え、医薬品卸事業、介護事業、不動産事業とも計画どおりに推移したことにより、売上高16,068百万円(前期比9.6%増)、営業利益749百万円(前期比5.3%増)、経常利益672百万円(前期比5.0%増)、当期純利益329百万円(前期比13.7%増)と、増収増益となりました。

調剤薬局事業は、新たに2店舗を出店したことにより、店舗数は71店舗となりました。新規店舗、既存店舗ともに順調に推移したことから、売上高15,008百万円(前期比9.6%増)、営業利益1,044百万円(前期比3.1%増)となりました。

医薬品卸事業は、売上高733百万円(前期比10.0%増・内部売上高を含む)、営業利益26百万円(前期比4.5%減)となりました。

介護事業は、昨年12月に運営を開始したハーモニーハウス津(三重県津市)を加えた3施設が計画どおりに推移した結果、売上高282百万円(前期比37.6%増)となりました。営業損益につきましては、新施設の開設準備費用40百万円を支出したことにより、営業損失8百万円となりました。

不動産事業は、不動産取得税7百万円の支出により、売上高202百万円(前期比0.8%増)、営業利益112百万円(前期比6.2%減)となりました。

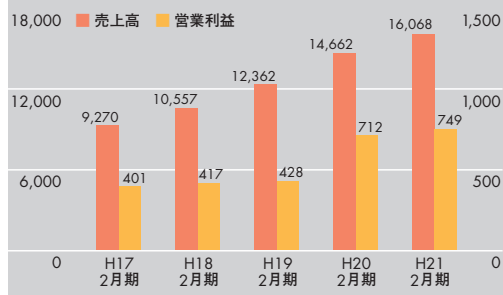
■ 月別売上実績

(単位:千円)

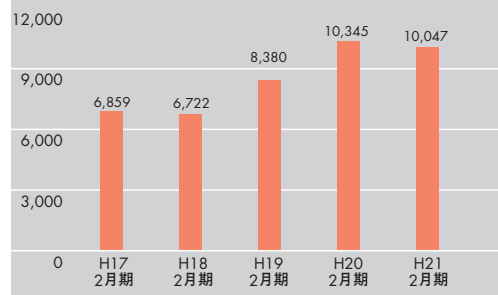
	3	4	5	6	7	8	中間計	9	10	11	12	1	2	通期計
第23期	1,187,598	1,118,282	1,142,519	1,117,478	1,152,565	1,285,114	7,003,556	1,145,611	1,337,080	1,286,070	1,362,368	1,265,800	1,262,065	14,662,551
第24期	1,345,261	1,360,282	1,311,779	1,271,790	1,368,501	1,279,505	7,937,118	1,307,018	1,413,946	1,269,799	1,481,403	1,353,667	1,305,946	16,068,897

連結業績ハイライト | Achievement highlight

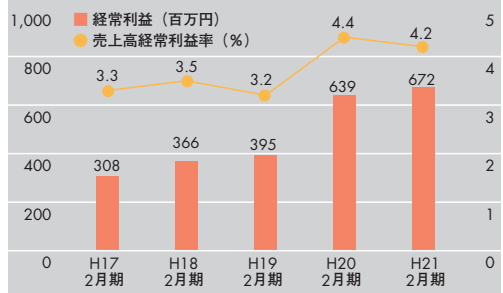
売上高・営業利益 (単位:百万円)



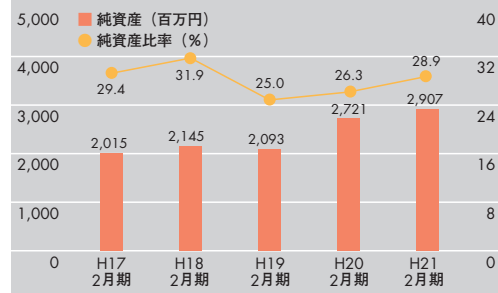
総資産 (単位:百万円)



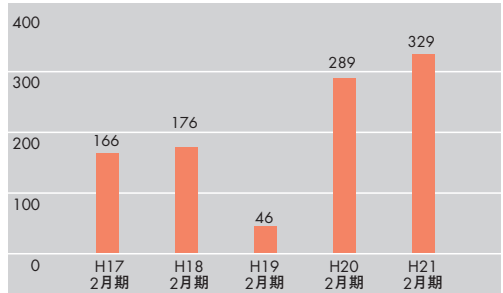
経常利益・売上高経常利益率 (単位:百万円・%)



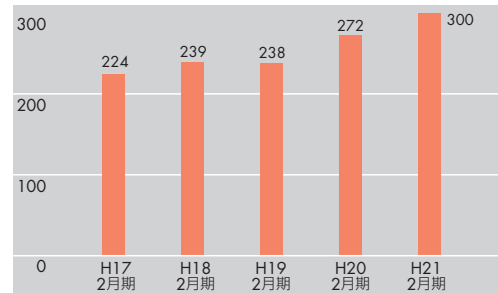
純資産・純資産比率 (単位:百万円・%)



当期純利益 (単位:百万円)



1株あたり純資産 (単位:千円)



● H17.2月期からH18.2月期までは単体ベースで表示されています。

● H17.2月期からH18.2月期までは単体ベースで表示されています。

連結財務諸表 | Financial Statements

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第24期(当期) 平成21年2月28日現在	第23期(前期) 平成20年2月29日現在
資産の部		
流動資産	3,946	4,398
現金及び預金	1,435	1,889
売掛金	1,715	1,761
たな卸資産	676	632
その他	120	116
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	6,100	5,947
有形固定資産	4,072	3,852
建物及び構築物	2,248	2,051
土地	1,698	1,671
その他	125	130
無形固定資産	1,069	1,148
投資その他の資産	958	946
資産合計	10,047	10,345
負債の部		
流動負債	3,912	4,075
買掛金	2,123	2,080
短期借入金	30	30
1年内償還予定社債	—	500
1年内返済予定長期借入金	1,324	971
その他	434	493
固定負債	3,227	3,548
長期借入金	2,876	3,209
その他	351	339
負債合計	7,139	7,623
純資産の部		
株主資本	2,904	2,702
資本金	917	917
資本剰余金	837	837
利益剰余金	1,303	1,014
自己株式	△ 153	△ 66
評価・換算差額等	2	19
その他有価証券評価差額金	2	19
純資産合計	2,907	2,721
負債・純資産合計	10,047	10,345

流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が454百万円減少したことによるものです。

売掛金の減少要因は、売掛債権流動化の増加によるものです。

固定資産の主な増加要因は、新規店舗及び介護事業への投資による増加399百万円と減価償却・のれん償却260百万円によるものです。

負債の部の主な減少要因は、支払手形の減少63百万円と借入金・私募債の減少479百万円によるものです。

純資産の部の主な増加要因は、利益剰余金の増加289百万円と当期に取得した自己株式86百万円によるものです。

連結財務諸表 | Financial Statements

■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第24期(当期)	第23期(前期)
	平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで	平成19年3月1日から 平成20年2月29日まで
売上高	16,068	14,662
売上原価	14,430	13,128
売上総利益	1,638	1,533
販売費及び一般管理費	888	821
営業利益	749	712
営業外収益	13	17
営業外費用	91	89
経常利益	672	639
特別利益	3	2
特別損失	26	42
税金等調整前当期純利益	649	599
法人税、住民税及び事業税	335	326
法人税等調整額	△ 15	△ 16
当期純利益	329	289

売上高は、前期比1,406百万円増(前期比9.6%増)となりました。コア事業である調剤薬局事業の売上高が、既存店・新規店舗とも順調に推移し、前期比1,320百万円増加したことに加え、他の事業においても計画を上回ったことによるものです。当期純利益は、売上総利益の増加に加え諸経費率が低下したことにより、329百万円(前期比40百万円増)を計上しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第24期(当期)	第23期(前期)
	平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで	平成19年3月1日から 平成20年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	588	350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 422	△ 927
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 606	1,327
現金及び現金同等物の増減額	△ 440	750
現金及び現金同等物の期首残高	1,868	1,118
現金及び現金同等物の期末残高	1,428	1,868

営業活動により得られた資金は588百万円となりました。主な要因は当期純利益と減価償却費等によるものです。投資活動により支出した資金は422百万円となりました。主な要因は介護事業施設や調剤薬局事業の設備への投資によるものです。財務活動により支出した資金は606百万円となりました。主な要因は借入金・私募債等の減少479百万円と自己株式の取得によるものです。

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成20年3月1日から平成21年2月28日まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	917	837	1,014	△ 66	2,702	19	19	2,721
当期変動額								
剰余金の配当			△ 39		△ 39			△ 39
当期純利益			329		329			329
自己株式の取得				△ 86	△ 86			△ 86
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 16	△ 16	△ 16
当期変動額合計	—	—	289	△ 86	202	△ 16	△ 16	185
当期末残高	917	837	1,303	△ 153	2,904	2	2	2,907

単体財務諸表 | Financial Statements

■ 貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第24期(当期)	第23期(前期)
	平成21年2月28日現在	平成20年2月29日現在
資産の部		
流動資産	2,877	3,512
現金及び預金	930	1,300
売掛金	1,287	1,345
商品	574	526
その他	86	340
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	5,234	5,057
有形固定資産	2,726	2,779
建物及び構築物	1,303	1,381
土地	1,332	1,305
その他	89	92
無形固定資産	51	56
投資その他の資産	2,457	2,222
資産合計	8,112	8,569
負債の部		
流動負債	3,116	3,248
買掛金	1,712	1,615
短期借入金	30	30
1年内償還予定社債	—	500
1年内返済予定長期借入金	1,091	818
その他	282	284
固定負債	2,169	2,637
長期借入金	1,910	2,387
その他	258	249
負債合計	5,285	5,886
純資産の部		
株主資本	2,823	2,664
資本金	917	917
資本剰余金	837	837
利益剰余金	1,222	976
自己株式	△ 153	△ 66
評価・換算差額等	3	19
その他有価証券評価差額金	3	19
純資産合計	2,826	2,683
負債・純資産合計	8,112	8,569

■ 損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第24期(当期)	第23期(前期)
	平成20年3月 1日から 平成21年2月28日まで	平成19年3月 1日から 平成20年2月29日まで
売上高	12,705	11,948
売上原価	11,659	10,921
売上総利益	1,046	1,027
販売費及び一般管理費	610	584
営業利益	435	443
営業外収益	118	100
営業外費用	70	68
経常利益	484	475
特別利益	3	2
特別損失	24	42
税引前当期純利益	463	435
法人税、住民税及び事業税	188	202
法人税等調整額	△10	△11
当期純利益	285	243

会社の概要 Corporate Profile

■ 会社概要 (平成21年2月28日現在)

商号	株式会社メディカルー光
設立	昭和60年4月17日
本社所在地	三重県津市藤方501番地の62 059 (226) 1193 (代表)
資本金	9億1,700万円
従業員数	615名 (グループ総数)
事業内容	調剤薬局事業/医薬品卸事業/ 介護事業/不動産事業

■ 役員 (平成21年2月28日現在)

代表取締役社長	南野利久	取締役	廣枝了三
代表取締役専務	西井文平	取締役	安達佳之
代表取締役常務	小黒博	取締役	澤宏紀
代表取締役常務	黒田一善	常勤監査役	柴高旦
取締役	大西登志和	監査役	早水恵之
取締役	櫻井利治	監査役	江口博明
		監査役	酒谷宜幸

■ 株式の状況 (平成21年2月28日現在)

1. 発行可能株式総数	30,000株
2. 発行済株式の総数	10,175株
3. 株主数	495名

■ 大株主 (平成21年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	2,550	25.06
株式会社リオ	971	9.54
南野利久	906	8.90
ハウス食品株式会社	900	8.84
株式会社メディカルー光(自己株式)	485	4.76
メディカルー光従業員持株会	474	4.65
個人株主	400	3.93
沢井製薬株式会社	350	3.43
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTHERN TRUST GUERNSEY NON TREATY CLIENTS	319	3.13
株式会社山陰合同銀行	250	2.45

